

公開 学習 会

「障がい者、高齢者、生活困窮者の＜住まい＞を支える仕組みを考える」

いわゆる「団塊世代」が後期高齢者と呼ばれる75歳に到達する2025年には、高齢者人口が3500万人に達するといわれ、労働人口割合の低下は社会保障費をひっ迫すると言われています。また、障害福祉施策においては、「施設丸抱え」のような支援だけでなく、可能な限り暮らしたいまちで自分らしい暮らしを支えることが奨励されています。そんな中、障がい者、高齢者、生活困窮者と呼ばれる方々にとって、どんな支えがあれば、ご自身もご近所も回りも安心できる＜住まい＞が実現できるのか。いくつかの事例をご紹介しつつ、ともに考えてみませんか。

日 時： 2017年7月10日(月) 18時～19時30分
(※受付開始：17時30分より)

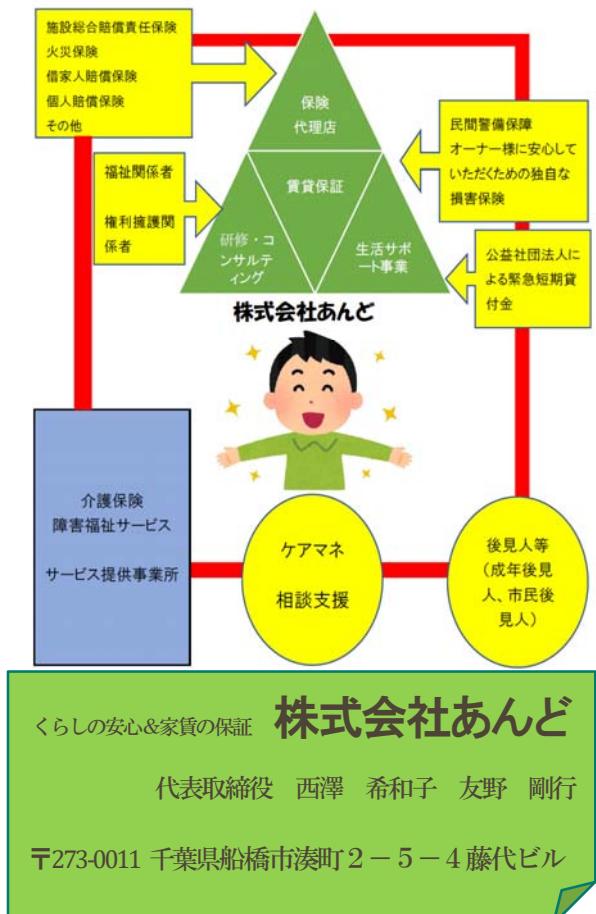
場 所： 船橋商工会議所 6階ホール(定員 150名)
千葉県船橋市本町1-10-10 JR船橋駅より徒歩7分

参加費： 無料

内 容：
・障がい者、生活困窮者等をとりまく状況
・事例紹介と「仕組み」のご提案

＜ご来賓予定＞ *順不同

- ・内閣府障害者差別解消法アドバイザー 又村あおい氏
- ・船橋市長（予定）
- ・東京大学大学院教育学研究所 教授 牧野篤氏（予定）
- ・東京大学政策ビジョン研究センター
市民後見研究実証プロジェクト 特任専門職員 東 啓二氏
- ・みどり総合法律事務所 弁護士 斎藤和紀氏
- ・株式会社介護屋宮崎 主任介護支援専門員 吉田友則氏



＜FAX送信用＞ 公開学習会に参加します。（FAX：047-404-1930）

代表者お名前：

所属：

参加人数： 名

代表者ご連絡先：

メールアドレス：